



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和3年8月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和3年8月2日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 特定原材料7品目の食物アレルギーに対応した学校給食の提供を開始します
(資料1)
- 2 市内高校生から渋川医療センターに感謝のメッセージを贈呈します(資料2)
- 3 デジタル社会に対応するための初心者向けスマートフォン体験教室を
開催します(資料3)
- 4 令和3年度しぶかわウォーキングチャレンジの参加者を募集しています(資料4)

○次回開催予定

日時：令和3年8月10日(火)午後1時～

場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
8月2日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
8月3日(火)	9:00	ラジオ体操会	中村緑地公園	スポーツ課
	10:00	一般市民向け手話教室(はじめての手話教室)	渋川公民館	地域包括ケア課
	14:30	第21回政策戦略会議	庁議室	秘書室
8月4日(水)	11:00	市内高校生から渋川医療センターへ感謝のメッセージ贈呈	渋川医療センター	秘書室
8月5日(木)	13:30	令和3年度第1回総合教育会議	大会議室	政策創造課
8月6日(金)	15:30	第22回政策戦略会議	庁議室	秘書室
8月7日(土)	7:15	ラジオ体操会	子持ふれあい公園	スポーツ課
	13:30	新型コロナウイルスワクチン集団接種(コース14:2回目)	渋川市民会館	健康増進課
8月8日(日)	8:00	ラジオ体操会	愛宕山ふるさと公園	スポーツ課
	9:00	新型コロナウイルスワクチン集団接種(コース15:2回目)	渋川市民会館	健康増進課
8月9日(月)				
8月10日(火)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	包括連携協定調印式(フォレストエナジー(株))	記者会見室	政策創造課
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室

資料1

担当：教育部学校給食課 課長 登坂 智治 電話0279-22-0132 内線4941

特定原材料7品目の食物アレルギーに対応した学校給食の提供を開始します

アレルギー対応学校給食センター東部学校給食共同調理場において、赤城・北橋地区の小中学校に、特定原材料7品目（卵、乳、小麦、エビ、カニ、そば、落花生）の食物アレルギーに対応した学校給食の提供を、9月1日(水)から開始します。

1 目的

食物アレルギー疾患をもつ児童生徒に対して等しく学校給食を提供することにより、児童生徒の健康の増進を図るとともに、食物アレルギーに対する理解を深め、もって円滑な学校運営に資するため、アレルギー対応食の提供を開始します。

2 アレルギー対応食の提供内容

おかず（主菜、副菜、汁物等）については、安全面を最優先し、アレルギー対応食の提供を受ける全児童生徒に、特定原材料7品目の成分を全て除いた除去食または代替食を提供します。

また、主食（ごはん、パン、麺）の内、パン及び麺は、代替食としてごはんを提供します。

3 提供開始日 令和3年9月1日(水)

4 対象校

赤城地区：三原田小学校、津久田小学校、赤城南中学校、赤城北中学校

北橋地区：橘小学校、橘北小学校、北橋中学校

5 提供者数 2名（令和3年7月29日現在）

※医師により、特定原材料7品目のいずれかのみでアレルギー反応を起こすと診断されている児童生徒で、保護者からの申請書を受け、提供実施を決定した人数。

6 その他

特定原材料7品目を対象とした学校給食におけるアレルギー対応食の提供は、県内12市で渋川市が初めてとなります。

資料2

担当：市長戦略部秘書室 室長 小野 宏伸 電話0279-22-2110 内線2411

市内高校生から渋川医療センターに感謝のメッセージを贈呈します

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、長期に渡り医療従事者の皆さんは、ワクチン接種やコロナ感染者の治療に当たってくれています。

そのような中、地元のために何かできないかと、渋川高校と渋川女子高校の生徒たちが企画し、第二種感染症指定医療機関である渋川医療センターに両校から感謝のメッセージを贈呈することになりました。

また、市からは、「#ありがとう」プロジェクトの一環として、「渋川市ふるさと感謝券」の贈呈と、市ホームページに寄せられた感謝のメッセージの贈呈を行います。

1 概要

令和2年度にそれぞれ創立100周年を迎えた渋川高校と渋川女子高校の生徒会が企画し、両校の生徒たちが書いた感謝のメッセージを渋川医療センターに贈呈します。

また、市からも、市内の医療従事者に贈っている「渋川市ふるさと感謝券」と、市ホームページに寄せられた感謝のメッセージを贈呈します。

2 日時 令和3年8月4日(水) 午前11時～11時30分

3 場所 渋川医療センター 2階 大会議室
(渋川市白井383)

4 贈呈品

(1) 渋川高校

- ・在校生から感謝のメッセージ (模造紙3枚分)

(2) 渋川女子校

- ・在校生から感謝のメッセージ (模造紙3枚分)

(3) 渋川市

- ・渋川市ふるさと感謝券

※1人1万円、市内の登録店舗で利用可能

- ・市ホームページに寄せられた感謝のメッセージ (冊子1部)

※メッセージは、令和2年5月から令和3年5月までの11件分で、今回の贈呈で2冊目

5 出席者(予定)

- (1) 渋川高校 : 生徒代表1名、引率教員1名
- (2) 渋川女子高校 : 生徒代表1名、引率教員1名
- (3) 渋川市 : 市長、市長戦略部長
- (4) 渋川医療センター : 院長、看護部長、事務部長

参考

これまでの「#ありがとう」プロジェクトの取り組み

- (1) クラップ・フォー・ケアラーズ
- (2) ブルーライトアップ運動
- (3) 看護の日×Nursing Nowピンバッジ
- (4) 医療従事者への感謝のメッセージ
- (5) 横断幕の設置

資料3

担当：総合政策部デジタル行政推進課 課長 佐藤 昭代 電話0279-25-8414 内線2450

デジタル社会に対応するための 初心者向けスマートフォン体験教室を開催します

国が推進するデジタル社会に対応するために、「使ってみたいけど難しそう」「スマートフォンで何ができるのか知りたい」という、スマートフォンを持ちたい人や持っているけど使い方に不安がある人などを対象にした、初心者向けのスマートフォンの体験教室を開催します。
教室は、市内の全公民館を会場にして、3回ずつ実施します。

1 概要

国では、令和3年9月にデジタル庁を設置するなど、デジタル社会の実現に向けた各種取組を推進しています。

本市においても、市民の誰もが社会のデジタル化に取り残されることがないようにスマートフォン等を利活用するための講座を実施するものです。

2 実施期間 令和3年10月1日(金)～12月10日(金)
※新型コロナウイルスの影響により変更する場合があります。

3 会場及び日程 市内11公民館で3回ずつ実施（各回120分程度）

渋川公民館 10/4(月) 14時～ 11/1(月) 10時～ 11/29(月) 14時～	豊秋公民館 10/6(水) 14時～ 11/5(金) 10時～ 12/1(水) 14時～	中央公民館 10/11(月) 14時～ 11/8(月) 14時～ 11/26(金) 14時～
西部公民館 10/7(木) 14時～ 11/4(木) 14時～ 12/2(木) 14時～	古巻公民館 10/13(水) 14時～ 11/10(水) 14時～ 12/8(水) 14時～	金島公民館 10/15(金) 14時～ 10/25(月) 14時～ 11/19(金) 14時～
小野上公民館 10/4(月) 10時～ 10/18(月) 14時～ 11/15(月) 14時～	子持公民館 10/25(月) 10時～ 11/4(木) 10時～ 11/22(月) 14時～	伊香保公民館 10/1(金) 14時～ 11/12(金) 14時～ 12/10(金) 10時～
北橋公民館 10/20(水) 14時～ 11/8(月) 10時～ 11/17(水) 14時～	赤城公民館 10/29(金) 14時～ 11/24(水) 14時～ 12/6(月) 14時～	

4 内容

(1) 第一部・講習会（90分程度）

〈講義編〉

- ・スマートフォンの電源の入れ方、文字入力の方法
- ・メールの利用方法
- ・市公式LINEのチャットボット、キャッシュレス決済等の紹介 など

〈実践編〉

- ・インターネット接続・検索等の操作
- ・地図アプリやコミュニケーションアプリの利用
- ・市ホームページの閲覧や市公式LINEのチャットボット、キャッシュレス決済等のオンラインコンテンツの利用 など

(2) 第二部・相談会 (30分程度)

第一部にて説明した内容などに関する相談に個別に対応

※第二部のみの参加も可能です。

5 対象者 市内在住で、スマートフォン等を持ちたい人や操作に不安がある人
※スマートフォンの所有の有無にかかわらず、市でスマートフォンを1人1台用意します。

6 定員 各回10人～15人程度を上限とし、申込者が多い場合は抽選
※申込み結果については、後日郵送で通知します。

7 申込方法 ①参加者氏名、②住所、③日中連絡が取れる電話番号、④参加を希望する日程及び会場(第二部のみの方はそれを明記又は伝える)を、はがき、メール又は電話でデジタル行政推進課(〒377-8501・石原80、電話番号・0279-22-2128、メールアドレス・digital@city.shibukawa.gunma.jp)へ
※1回の申込みで最大4人まで、複数回の申込みが可能です。
※居住地域以外の会場も申込み可能です。

8 申込期限 令和3年9月10日(金)

9 周知方法

- (1) 広報しぶかわ(8月15日号)
- (2) 市ホームページ
- (3) 募集チラシの配布

10 体験教室後の対応

一定期間は継続的に支援を行う必要があるため、体験教室後も、受講者からの問合せに対応します。

資料4

担当：スポーツ健康部健康増進課 課長 一場 悦子 電話0279-25-1321 内線4600

令和3年度しぶかわウォーキングチャレンジの参加者を募集しています

市民の健康意識の醸成と健康寿命の延伸などを目的として、市民が日常生活の中で楽しみながら継続的にウォーキングに取り組める仕組みをつくる「しぶかわウォーキングチャレンジ事業」を、昨年に引き続き実施します。

参加者は、活動量計を身に付けて日々の歩行や運動に励み、個人の努力や健康づくりの自己目標の達成度に応じてポイントを受けられます。ポイントは、チャレンジ終了時にQ U Oカード（最大2,000円分）と交換できます。

1 目 的

本事業は、日常生活の中で楽しみながら継続的にウォーキングに取り組める仕組みをつくり、市民の健康意識を醸成するとともに、健康寿命の延伸及び医療費の適正化を図るものです。

2 概 要

「はかる」「わかる」「きづく」「かわる」をコンセプトとして、楽しく歩いて継続できるように健康づくりを応援するプロジェクトです。

まず、活動量計を身に付けることからスタートし、日々の歩行や運動に励む個人の努力や健康づくりの自己目標の達成度に応じてポイントを付与します。コロナ禍においても自らの健康のためにチャレンジした市民に対して、今年度はインセンティブとしてQ U Oカード（最大2,000円）を提供します。

「Withコロナ」の時代に合った健康づくりとして、三密を避けて実施できるウォーキングのメリットを活かし、「コロナに負けない体づくり」を目指します。

3 内 容

(1) 参加申し込み者へ説明会開催

活動量計（注1）と「チャレンジカード」（自己目標や達成状況の記載等）を配布してチャレンジ開始となります。

※注1）活動量計は、個人を識別できる情報を登録し、「管理ICTシステム」と連携して、通信機能を持たせ、電子記録化できる専用機器を使用します。

(2) チャレンジ中に体組成計（注2）の測定

保健センターや出前測定会等で体組成計測定を行い、身体の変化を専用カルテにプリントすることで、結果を「見える化」します。

※注2）体組成計とは、体脂肪や筋肉量、骨量など計測する機器です。

(3) 月1回歩数を読み取り機からデータ送信することでポイント付与

データ読み取り機は、保健センターに設置の専用機のほか、ローソンやミニストップのLoppi端末で送信できます。

(4) 活動量計や体組成計の測定記録は「管理ICTシステム」で管理

個人が閲覧できる健康ポータルサイトを提供します。

(5) ポイント設定内容

一定量の歩数を歩くのと週間目標歩数を歩く他に、健診（がん検診を除く）を受けたり健康教室・講演会を受講してもポイントを獲得できます

(6) チャレンジ終了時、合計ポイントによりQUOカードプレゼント

2月末までの歩数や測定会で貯めたポイントと自己目標の達成状況などを記入したチャレンジカード、参加者アンケートを提出するとポイント合算します。貯めたポイントはインセンティブとして、ポイント数に応じてQUOカード（最大2,000円分）と交換します。

4 実施期間

- (1) 初回説明会 継続の方=9月12日(日)、9月13日(月)
新規の方=9月14日(火)、9月18日(土)、9月19日(日)
- (2) チャレンジする期間 令和3年10月～令和4年2月

- 5 対象者 市内に住所のある20歳以上の方（新規の方500名、継続の方500名）
※応募多数の場合は抽選になります。

- 6 参加費 新規の方=3,000円、昨年度からの継続の方=1,000円

- 7 申込期間 令和3年7月15日(木)～8月13日(金)

- 8 周知方法 広報紙7月15日号と同時にチラシを毎戸配布

- 9 委託事業者 株式会社タニタヘルスリンク

10 昨年の実績と成果

- (1) 参加者数：492人
(2) 初回説明会：5回
(3) ウォーキングセミナーの開催：3回、参加者数：36人
(4) 体組成計測定者数：延べ2,438人
(5) チャレンジカード（目標管理、アンケート）提出者数：441人
(6) ウォーキングラリーとして、バーチャルウォーキングイベント・ハワイ編を活用しました。
(7) 達成歩数やセミナー参加等で獲得したポイントに応じて、QUOカードと交換しました。

QUOカードの交換者数：469人（3,000ポイント以上：405人、2,000ポイント以上：42人、1,000ポイント以上：22人）

(8) 成果

参加者のアンケート結果の分析を行ったところ、事業の参加前後で運動習慣等の改善がみられていることが分かりました。

本事業の実施が、定期的な運動の習慣化につながり、さらには10分以上継続して歩くことがほとんどなかった活動量の低い層の歩くきっかけになっていることが示唆されます。